



平井西小だより

令和5年 5月 1日

江戸川区立平井西小学校

校長 藤澤 優子

5月号 No.2

目は心の窓

「かかわり」「共育・協働」～心と心の絆を深めながら～

校長 藤澤 優子

美しかった桜の花もいつしか鮮やかな緑がまぶしい季節となりました。

新学期が始まり4週間が過ぎました。今年度は、校庭での休み時間学年割り振りの制限がなく、全学年校庭を元気いっぱい走り回っています。4月からマスク着用も各家庭、子供たちの判断となり、笑顔あふれる子供たちの姿が学校の中にあふれてきています。換気・手洗い・消毒は引き続き行い、「今」を大切に、学びを重ねていきます。



入学してきた1年生も4月当初は、6年生と一緒に教室まで上がっていく光景が広がっていましたが、学校生活にも慣れてきました。特に下駄箱の履物が、見事に美しく並んでいます。「きれいに揃えると気持ちがいい。」と6年生も1年生の履物をさりげなくそろえてくれていました。1年生の頑張りや6年生の優しさに心が温かい気持ちになりました。

この他にも新学期が始まってから何事にも意欲的に取り組んでいる姿が見受けられます。月曜日の朝会では、子供たちの前に立ち、話を始めようとする時、全員の目がこちらに集中し、その聞く姿勢に驚かされます。その姿は、「心もこちらに向いているよ」という心の声が聞こえてくるような感じがします。私も今年度はより一人一人に心に向け、話をしています。先生方も「お話を先生の方に向けられて素晴らしいです。」と話をする機会が増えてきました。先生方も同じ思いなのだと感じる瞬間です。

「目は心の窓」とよく言います。特に、学校生活では、話をする時は、目と目を合わせることをとても大切にしています。言葉だけでなく、目と目を合わせることで、心が開いていき、心で考えていることがわかるような気がしてきます。これからも気持ちを通じ合わせることを心がけていきたいと思えます。

5月20日(土)は平井西小学校運動会です。それぞれの学年が、子供たち同士、子供たちと教職員が「かかわり」をもちながら絆を深め始めてきました。行事を通してさらに深まっていくよう取り組んでまいります。

短距離走では、懸命に走るたくましい姿、表現運動では、同じ動きの中にも、一人一人の個性が輝く姿を披露します。運動会を支える高学年の働きにも熱い声援をお願いします。躍動する子供たちの様子をぜひご覧ください。